

被験者はジョイスティクを自由に操作する
ランダムに動かしたあと、
あるタイミングで中央にスティックをもどすことが
要請される。

このようすがスクリーンに映され、
自分の手は仮想的な手に変換される。

仮想的な手が、自分の動きと同じタイミングで
動いているのが見える。

投射のための時間遅れは30ms以内で知覚できない。

被験者はベッドに寝て、ベッド上のテーブルにジョイスティクがある
本物の手は黒い布で覆われ隠されている

スクリーンに写される手の条件

0度条件:仮想的な手の角度は、本物と同じ位置

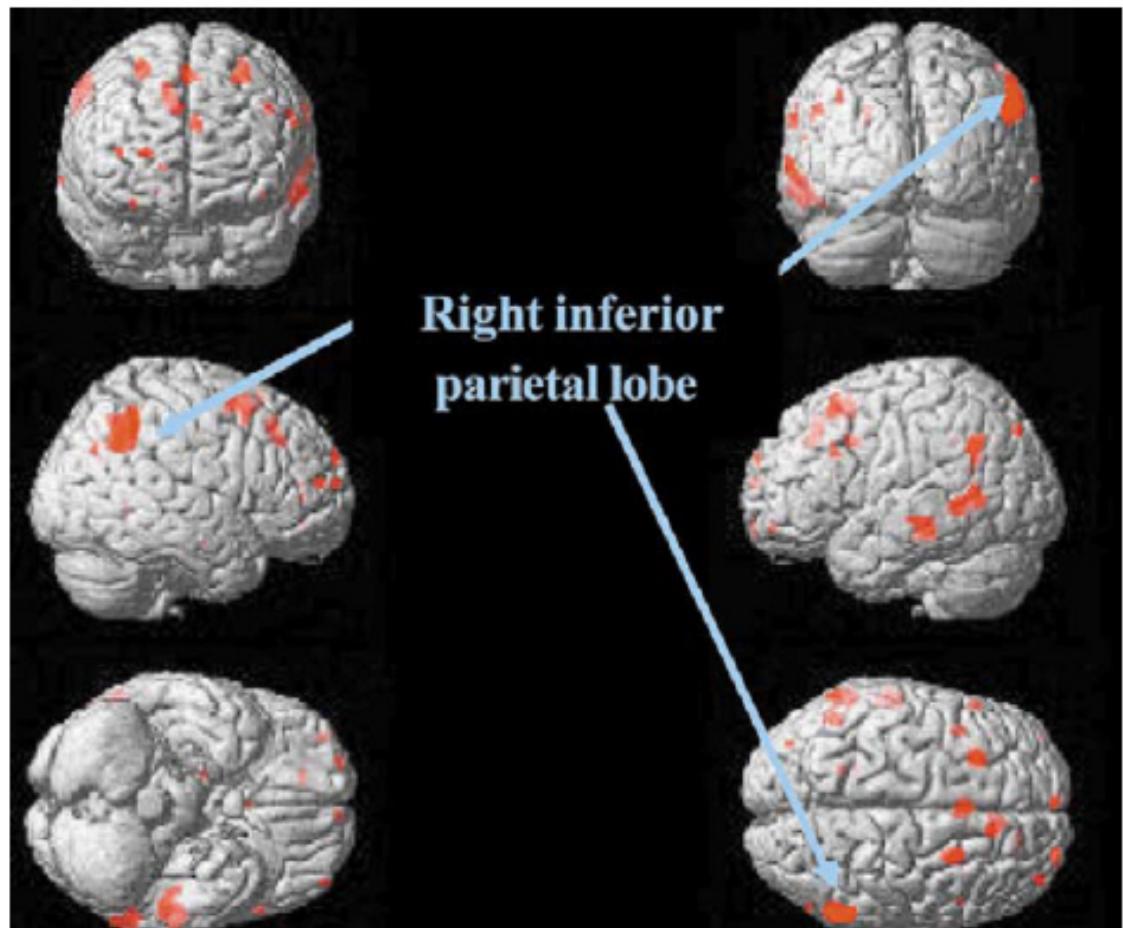
25度条件:実際の手の運動軌跡に25度偏重している

50度条件(同上)

(2と3については、セッションの前半が右、後半が左に偏る)

他人条件:ジョイステイックは実験者が制御している

各実験で、被験者は、動きが誰に作り出されているか、を聞かれる



Right inferior
parietal lobe

Sense of agency が低いとき

Farrer, 2005

受動作用感覚

Sense of Agency
(能動的作用感覚)

↑ ?
所有感

個別的作業の一般化(規則化)
外延の内包化

Ownership
(所有感)

不斷の調停?

個別的内容を無視した強度を
不定なまま丸ごと個物化
内包の外延化 → 部分的全体

RHI 部分に関する所有感？

OBE 全体に関する所有感？

ともに全体性が前提になっている

部分ごとに所有感あり、なしが構成可能なはずである



自己意識＝作用感(外延の内包化)



所有感(内包の外延化)
の絶え間ない調停



自己意識＝作用感(外延の内包化)



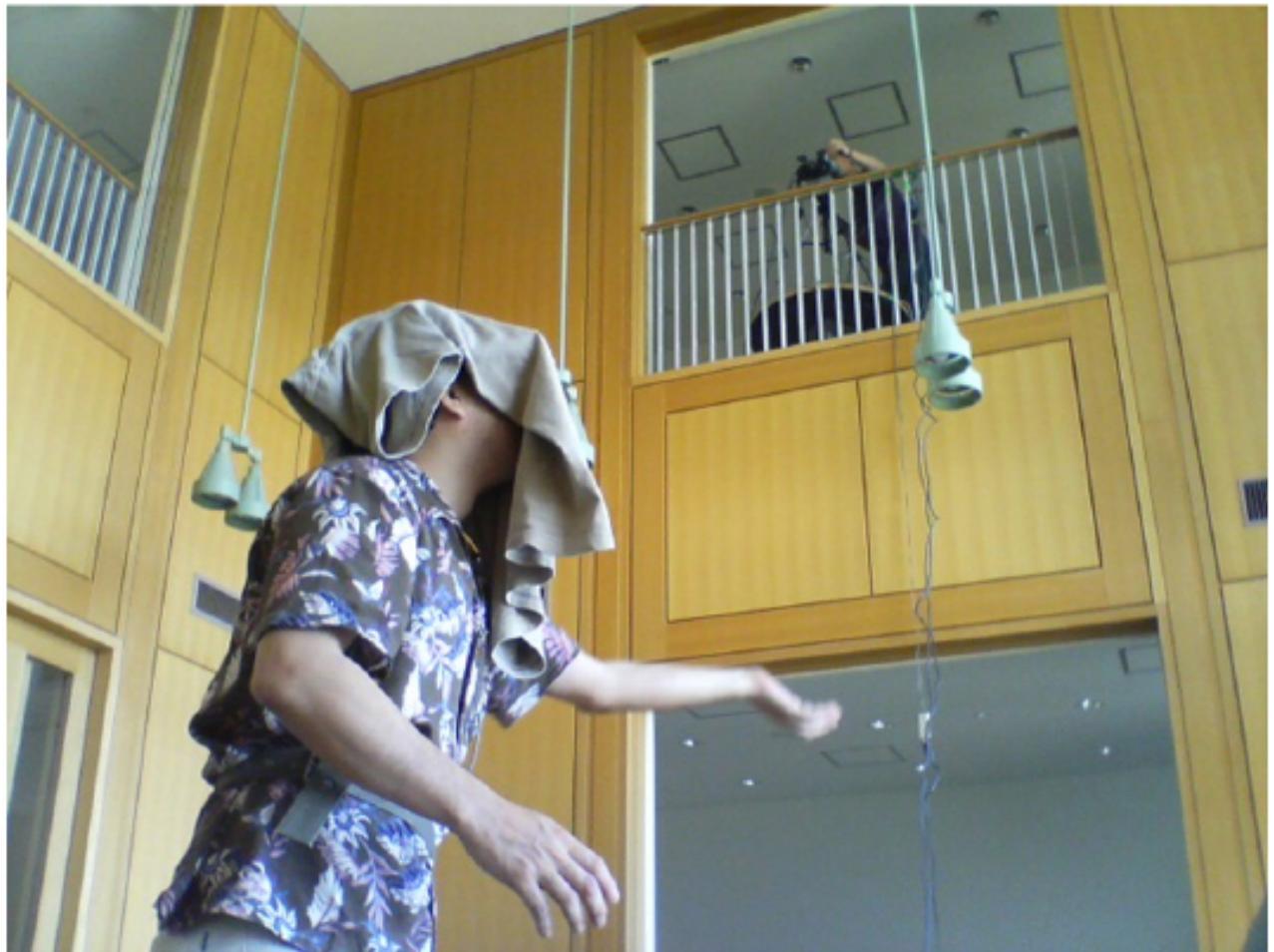
所有感(内包の外延化)
の絶え間ない調停

自己意識＝出来事系列(外延)



時間様相(内包)
の絶え間ない調停







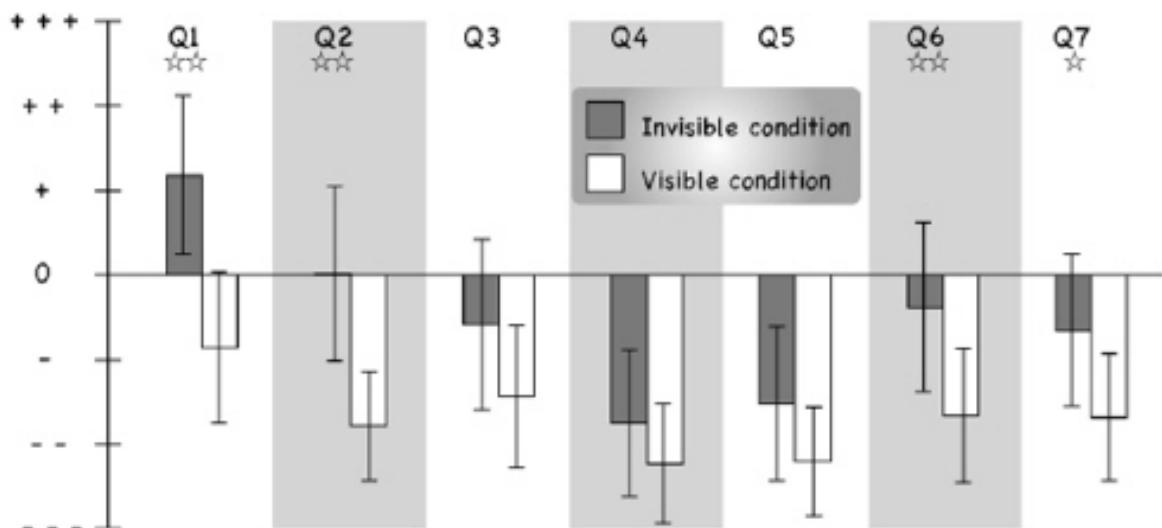


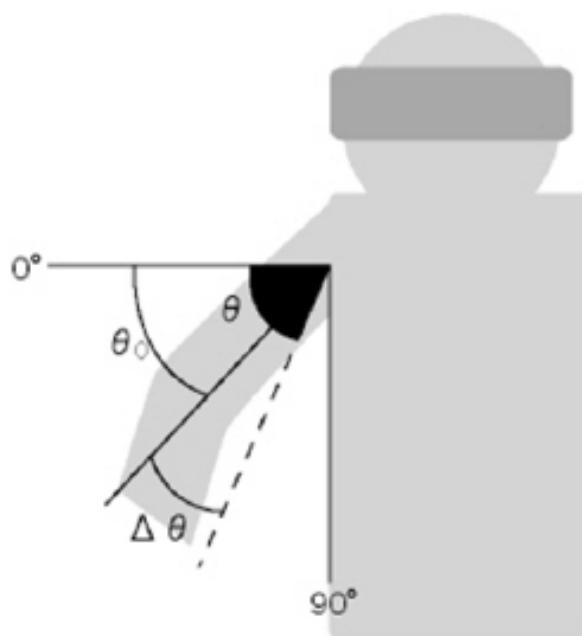
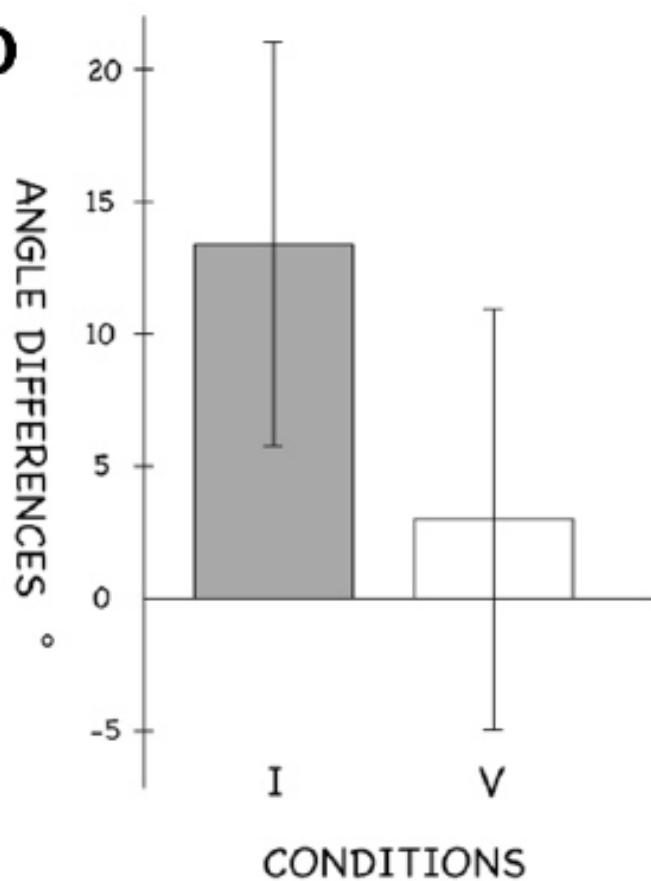
Nishiyama, Tatsumi & Gunji

a**b**

During the 30 seconds viewing there were times when:

- Q1. I felt as if the arm was not mine.
- Q2. I felt as if the arm was others.
- Q3. I felt as if the arm was neither mine nor others.
- Q4. It seemed as if the arm was not an arm.
- Q5. I could not freely move by my own will.
- Q6. It seemed as if the arm moved on its own.
- Q7. I felt as if a stranger moved the arm.



a**b**

Steel arm



Invisible



Visible

SoA: 体の操作 (~考える私)

(~機能)

(~集合)



SoO: 体 (~私)

(~構造)

(~要素)

SoA: 体の操作 (~考える私)

(~機能)

(~集合)



SoO: 体 (~私)

(~構造)

(~要素)